

創造的な街づくりを推進する世界各地の港町との文化交流プロジェクト〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉

EXHIBITION

〈スマートイルミネーション横浜 2019 連携プログラム〉

ポート・ジャーニー・プロジェクト 横浜 ⇄ 高雄 カオシュン

山本アンディ彩果 帰国展「永恆的故事 —エターナルストーリー—」

会期：2019年10月28日(月)～11月17日(日) 16:00 - 20:00

会場：象の鼻テラス 観覧無料



《物語の亡霊》2019

忘れゆく旅の記憶をとどめる

—高雄での滞在制作を終え、砂糖漬けにした本の作品『エターナルストーリー』を展示

象の鼻テラスでは、2019年10月28日(月)～11月17日(日)の期間、〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉*の一環として、高雄(台湾南部の港町)に今年6月に派遣した、横浜を拠点に活動するアーティスト山本アンディ彩果の帰国展「永恆的故事 —エターナルストーリー—」を開催します。

山本アンディ彩果は、失ってゆく記憶をとどめようとする行為と、果物などを美しいままに保存する砂糖漬けという技法の類似性に着目し、作品制作を通して記憶についての考察を行っています。山本が砂糖漬けという手法で作品をつくり始めたきっかけは、認知症の祖父との二人暮らしでした。一瞬前の出来事ですらすぐに忘れてしまう祖父を前に、記憶が消えたり曖昧になることはまるでフィクションのようだと思えてきたと語る彼女は、おとぎ話(=フィクション)の本を砂糖漬けにしていく作品『エターナルストーリー』を発表しはじめました。刻々と溶けていってしまう儂い保存方法を用いることで、どうしても忘れていってしまう記憶に対する自覚と、それと同時に記憶が永遠に残ることを願う思いの両面を表しています。

今回、本プロジェクトにて高雄での滞在制作および展示発表を終えた山本は、他者とのコミュニケーションが取りづらい環境下におかれた自らの状態を表現し、高雄に滞在した旅の記憶を保存した作品『永恆的故事』(=台湾語でエターナルストーリーの意)を横浜にて展示します。高雄の本と砂糖を使用した日本初公開の作品となります。

この機会にぜひ、取材・掲載のご検討をお願いいたします。

* 〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉は、クリエイティブな街づくりを推進する世界各地の港町との文化交流を通じて、都市間のサステナブルな関係構築を目指すプロジェクトとして、2011年から活動しています。

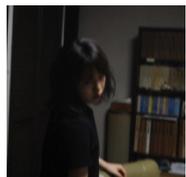
取材に関するお問い合わせ

象の鼻テラス 担当：秋山 E-mail : press@zounohana.com

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目

TEL 045-661-0602 FAX 045-661-0603 WEB <http://www.zounohana.com>

プロフィール



山本アンディ彩果 Andy Ayaka Yamamoto

1992年神奈川県生まれ。「自分と他者との間に在る目に見えないものの可視化」を軸に立体や映像インスタレーション等、様々な手法や素材を用いて表現制作を行う。現在は認知症の祖父と二人で暮らした事をきっかけに「砂糖漬け」の技法を使った「記憶の在り方」について考察する作品を制作している。

開催概要

＜スマートイルミネーション横浜 2019 連携プログラム＞ ポート・ジャーニー・プロジェクト 横浜⇄高雄

山本アンディ彩果 帰国展「永恆的故事 —エターナルストーリー—」

会期：2019年10月28日（月）～11月17日（日） 16:00 - 20:00 観覧無料

*スマートイルミネーション横浜 2019 の期間中（11月1日（金）～4日（月・祝））は展示時間を21:30まで延長します。

*象の鼻テラスの開館時間は、10:00-18:00（都合により変更の可能性あり）です。

会場：象の鼻テラス 横浜税関側ウィンドウ（屋外からご覧いただけます）

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 | TEL 045-661-0602 | WEB <http://www.zounohana.com>

主催：象の鼻テラス | 協力：駁二芸術特区（The Pier-2 Art Center） | 企画制作：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター



*本展示は、スマートイルミネーション横浜 2019 [会期：11/1～4] の連携プログラムです。
会期中は展示時間を21:30まで延長します。

スマートイルミネーション横浜 2019

＜開催概要＞

会期：2019年11月1日（金）～4日（月・祝） 17:30 - 21:30

*一部プログラムは12月25日（水）まで象の鼻テラスにて展示

会場：象の鼻パーク、象の鼻テラスほか | 入場料：無料

主催：スマートイルミネーション横浜実行委員会 | 共催：横浜市

アートプロデュース：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

公式ウェブサイト：<http://www.smart-illumination.jp>



ポート・ジャーニー・プロジェクトについて



クリエイティブな街づくりを推進する世界各地の港町と文化交流を図り、象の鼻テラスと、各都市で独自の活動を行う文化施設がサステナブルな関係構築を目指す国際的なプロジェクトです。2011年に横浜とメルボルン（オーストラリア）の交流からスタートし、以降、ネットワークを徐々に拡大し、年に一度のディレクター会議（毎年ホスト都市を変えて実施）や2ヶ月に一回のオンライン会議も行いながら、交流する2都市間や、アーティストのみにとどまらない広い意味での文化交流のかたちを探っています。現在までの参加都市（ディレクター会議の単回参加も含む）：横浜（日本）、メルボルン（オーストラリア）、サンディエゴ（アメリカ）、ハンブルク（ドイツ）、上海（中国）、フローニンゲン（オランダ）、バーゼル（スイス）、ナント（フランス）、レイキャビク（アイスランド）、アンマン（ヨルダン）、高雄（台湾）、ヘルシンキ（フィンランド）、光州（韓国）など。

*PORT JOURNEYS 公式ウェブサイト：<http://www.portjourneys.org>

象の鼻テラスについて



Photo: Katsuhiro Ichikawa

象の鼻テラスは、横浜市開港150周年事業として、2009年6月2日に開館しました。横浜港発祥の地を、横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間として整備した象の鼻パーク内に、アートスペースを兼ね備えたレストハウス（休憩所）として、横浜市の新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つです。開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会ってきたように、さまざまな人や文化が出会い、つながり、新たな文化を生む場所を目指し、多ジャンルのアートプログラムを開催しています。象の鼻テラスは横浜市文化観光局の委託により、スパイラル/株式会社ワコールアートセンターが運営しています。